



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 東 福

上場会社名 リックス株式会社
 コード番号 7525 URL <http://www.rix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松浦 賢治
 (氏名) 荻田 透

TEL 092-472-7311

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,797	△6.0	252	△6.3	265	△12.7	162	7.8
24年3月期第1四半期	7,228	22.4	269	76.9	304	89.0	150	116.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 90百万円 (△45.8%) 24年3月期第1四半期 167百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	19.11	—
24年3月期第1四半期	17.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	19,534	8,432	41.3
24年3月期	19,545	8,433	41.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 8,068百万円 24年3月期 8,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	3.3	520	△9.7	560	△10.0	300	△9.9	35.33
通期	30,400	3.5	1,100	△11.1	1,170	△13.2	630	△3.3	74.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	8,640,000 株	24年3月期	8,640,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	148,564 株	24年3月期	148,564 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	8,491,436 株	24年3月期1Q	8,491,495 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間において世界経済は、中国をはじめとする新興国の成長に牽引され、緩やかな回復を続けました。しかしながら欧州財政危機が主要新興国の経済成長を押し下げ、減速感が強まっています。一方で日本経済は、東日本大震災の復興需要等による持ち直しの動きが見られるものの、欧州財政危機や長期化する円高の影響により不安定な状況が続きました。

この状況の下、当社グループは顧客に対して、原価低減、省エネルギー、品質向上等の価値提案を主とした顧客密着営業を展開し、生産比例品および消耗品等の販売に注力しました。また新商品の開発・拡販にも力を入れ、業績向上に努力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高67億97百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益2億52百万円（同6.3%減）、経常利益2億65百万円（同12.7%減）、四半期純利益1億62百万円（同7.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(鉄鋼業界)

同業界では、エコカー補助金に支えられた自動車向け鋼板を除き、造船向けや建設用鋼材などの国内需要は振るいませんでした。粗鋼生産量は前年同期をわずかに上回ったものの、中国・韓国勢の増産による攻勢を受けて国内外で競争が激化し、鋼材価格の下落が見られました。

当社グループにおきましては、製鋼用副資材としての脱磷材の売上が伸びたものの、前年同期に好調な販売実績を残した土壤黒鉛のマイナスを補うに至りませんでした。この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は24億70百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

(自動車業界)

同業界では、エコカー補助金の政策効果により国内需要は前年同期を大きく上回りました。また工作機械の受注については、外需が中国の金融引き締めによる影響で低調だったものの、内需が自動車向けで好調に推移し、外需と内需を合わせた受注額全体としては毎月1,000億円を上回りました。

当社グループにおきましては、ヘミング成形に使用されるプレス加工機、切粉の脱油処理装置の販売などが売上増に寄与しました。この結果、自動車業界向け全体としての売上高は13億94百万円（前年同期比26.6%増）となりました。

(電子・半導体業界)

同業界では、国内の半導体製造装置については受注・販売とも前年同期をやや下回り、FPD製造装置については販売が前年同期に対し微増だったものの、受注は約3分の1と大幅な落ち込みが見られました。

当社グループにおきましては、ICバリ取り装置や洗浄用オゾン発生装置で大きな受注があったものの、前年同期に好調な販売実績を残した車載用半導体検査装置や自動逆洗フィルターのマイナスを補うに至りませんでした。この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は5億99百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

(ゴム・タイヤ業界)

加硫機改造補修品やバルブの販売が低迷し、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は6億5百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

(環境業界)

前年同期に大口の設備投資案件があった水処理施設向けの販売を補うまでに至らず、環境業界向け全体としての売上高は2億29百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

(紙パルプ業界)

製紙工程のワイヤーパートで使用されるルーツプロアーの販売が伸び、紙パルプ業界向け全体としての売上高は1億61百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

(化学業界)

前年同期に大口の設備投資案件として受注した塩化炉の開口機の販売を補うまでに至らず、化学業界向け全体としての売上高は2億37百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末より0.3%減少し、149億46百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億83百万円、受取手形及び売掛金が3億3百万円それぞれ減少し、一方でたな卸資産が2億5百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は前連結会計年度末より0.6%増加し、45億87百万円となりました。これは主に有形固定資産が13百万円減少し、一方で投資その他の資産が31百万円増加したことなどによるものです。

これらの結果、総資産は前連結会計年度末より0.1%減少し、195億34百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末より1.7%増加し、102億64百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が26百万円、未払法人税等が1億48百万円それぞれ減少し、一方で短期借入金が4億30百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は前連結会計年度末より17.8%減少し、8億37百万円となりました。これは主に役員退職慰労引当金が1億69百万円減少したことなどによるものです。

これらの結果、負債合計は前連結会計年度末より0.1%減少し、111億1百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末より微減し、84億32百万円となりました。これは利益剰余金が77百万円増加し、一方でその他の包括利益累計額が66百万円、少数株主持分が11百万円それぞれ減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では平成24年5月15日に公表しました業績予想に変更はありませんが、変更が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の算定方法)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これにより損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,196,366	2,013,211
受取手形及び売掛金	10,643,617	10,340,447
商品及び製品	806,964	899,526
仕掛品	74,167	187,982
原材料及び貯蔵品	73,041	72,100
その他	1,195,959	1,437,395
貸倒引当金	△4,152	△4,029
流動資産合計	14,985,965	14,946,634
固定資産		
有形固定資産	1,864,660	1,850,949
無形固定資産	83,333	93,265
投資その他の資産		
投資有価証券	2,083,415	2,048,841
その他	536,193	602,591
貸倒引当金	△7,925	△8,125
投資その他の資産合計	2,611,684	2,643,307
固定資産合計	4,559,677	4,587,522
資産合計	19,545,643	19,534,157
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,709,465	7,682,950
短期借入金	1,175,750	1,606,395
1年内返済予定の長期借入金	42,002	26,871
未払法人税等	274,342	126,253
賞与引当金	—	161,730
役員賞与引当金	—	10,148
受注損失引当金	2,634	—
その他	889,532	650,056
流動負債合計	10,093,727	10,264,404
固定負債		
長期借入金	7,940	6,935
退職給付引当金	533,240	537,669
役員退職慰労引当金	365,764	196,748
その他	111,471	95,948
固定負債合計	1,018,417	837,301
負債合計	11,112,145	11,101,706

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	683,986	683,986
利益剰余金	6,532,058	6,609,335
自己株式	△79,081	△79,081
株主資本合計	7,964,863	8,042,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,663	101,631
為替換算調整勘定	△89,927	△74,799
その他の包括利益累計額合計	93,736	26,831
少数株主持分	374,898	363,479
純資産合計	8,433,498	8,432,451
負債純資産合計	19,545,643	19,534,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,228,826	6,797,514
売上原価	5,880,933	5,418,667
売上総利益	1,347,892	1,378,847
販売費及び一般管理費	1,078,631	1,126,548
営業利益	269,260	252,299
営業外収益		
受取利息	634	1,646
受取配当金	9,124	8,141
持分法による投資利益	19,374	9,544
不動産賃貸料	7,104	5,426
その他	8,583	6,168
営業外収益合計	44,820	30,927
営業外費用		
支払利息	1,370	1,467
為替差損	7,950	15,404
その他	446	724
営業外費用合計	9,768	17,596
経常利益	304,313	265,630
特別利益		
固定資産売却益	70	—
保険解約返戻金	408	23,975
特別利益合計	478	23,975
特別損失		
減損損失	122	460
固定資産除却損	162	—
投資有価証券評価損	—	1,140
特別損失合計	285	1,600
税金等調整前四半期純利益	304,506	288,005
法人税等	144,831	119,874
少数株主損益調整前四半期純利益	159,675	168,130
少数株主利益	9,145	5,824
四半期純利益	150,529	162,306

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	159,675	168,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,606	△92,600
為替換算調整勘定	5,672	15,127
持分法適用会社に対する持分相当額	567	124
その他の包括利益合計	7,846	△77,348
四半期包括利益	167,522	90,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,434	95,401
少数株主に係る四半期包括利益	11,087	△4,619

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	2,633,212	1,101,143	861,063	864,396	256,159	141,157	258,607	6,115,742
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,633,212	1,101,143	861,063	864,396	256,159	141,157	258,607	6,115,742
セグメント利益	200,138	38,038	37,386	33,209	10,266	6,994	19,530	345,565

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	1,113,084	7,228,826	—	7,228,826
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	1,113,084	7,228,826	—	7,228,826
セグメント利益	40,636	386,201	△116,940	269,260

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △116,940千円には、内部利益 136,783千円、連結消去 52,389千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △306,114千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	2,470,339	1,394,275	599,681	605,289	229,708	161,284	237,994	5,698,573
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,470,339	1,394,275	599,681	605,289	229,708	161,284	237,994	5,698,573
セグメント利益	191,529	79,644	29,206	21,830	10,212	2,505	15,368	350,296

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	1,098,940	6,797,514	—	6,797,514
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	1,098,940	6,797,514	—	6,797,514
セグメント利益	38,612	388,909	△136,610	252,299

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △136,610千円には、内部利益 130,968千円、連結消去 56,144千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △323,723千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。